



【情報共有】
新宮川水系内外水統合型
水害リスクマップについて

令和8年1月22日

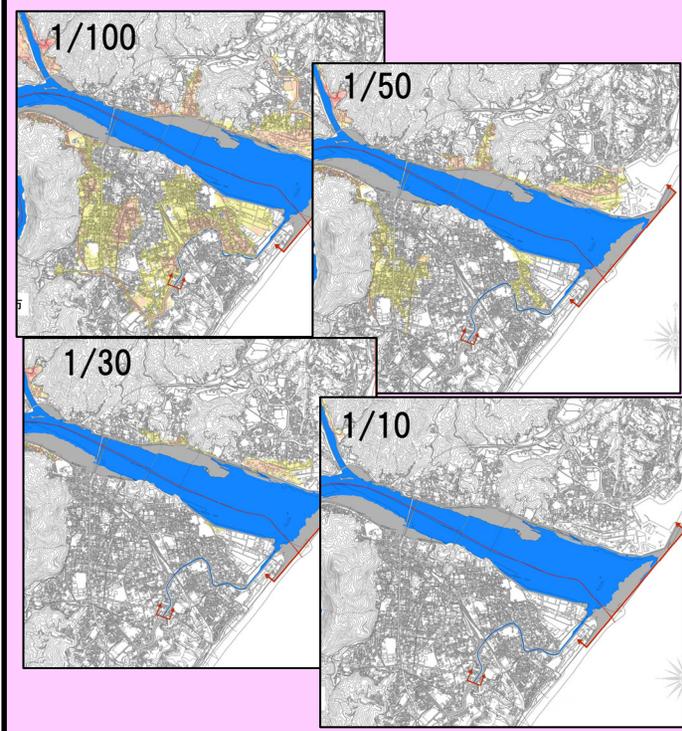
第9回熊野川流域治水協議会

1.多段階浸水想定図・水害リスクマップ・内外水統合型水害リスクマップについて

- 国土交通省では、流域治水の取り組みを推進するため、土地利用や住まい方の工夫、水災害リスクを踏まえた防災まちづくりの検討及び企業の立地選択に活用出来るよう、比較的発生頻度が高い降雨規模も含めた複数の降雨規模毎に作成した浸水想定図（「多段階の浸水想定図」）と、それらを重ね合わせて、浸水範囲と浸水頻度の関係を図示した「水害リスクマップ」を作成しております。
- これに加えて、主要河川以外の支川や内水氾濫による浸水リスクを示す内外水統合型のリスクマップを作成することとしており、先行して内水被害が頻発している熊野川流域の内外水統合型のリスクマップを公表する予定です。

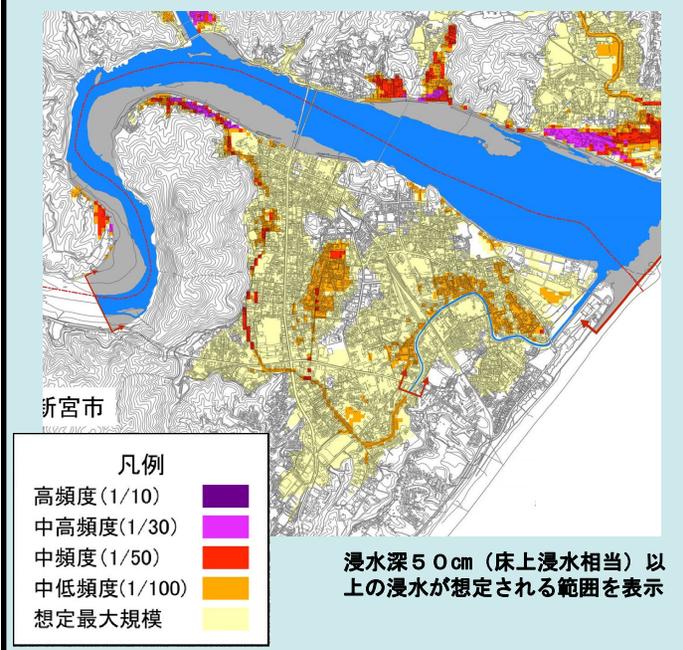
【多段階の浸水想定図(外水氾濫のみ)】

- 想定最大規模・計画規模に加え、高頻度から中低頻度で発生する降雨規模毎(1/10、1/30、1/50、1/100)に作成した浸水想定図。



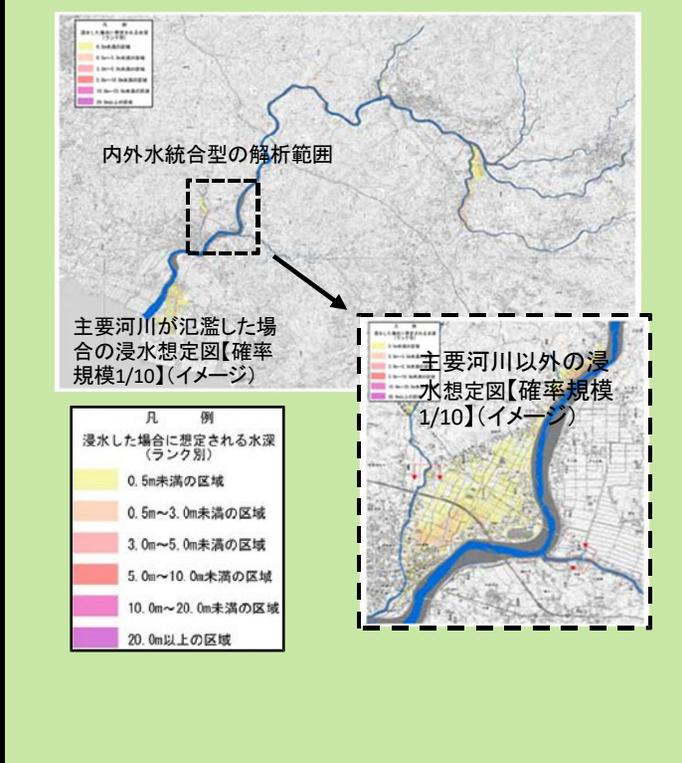
【水害リスクマップ(外水氾濫のみ)】

- 多段階の浸水想定図を用いて、降雨規模毎の浸水範囲を浸水深毎(0.0m以上、0.5m以上(床上浸水)、3.0m以上(1階居室浸水))に重ね合わせて作成した図面。



【内外水統合型水害リスクマップ】

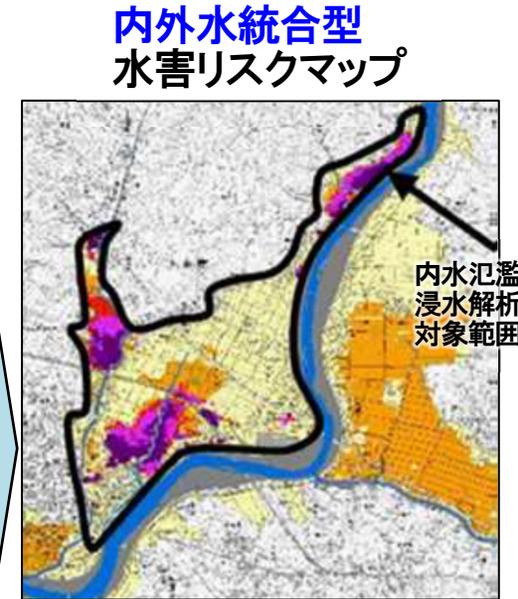
- その他河川や下水道からの氾濫による浸水を内外水一体型で表現した図面。



2. 内外水統合型水害リスクマップ

- これまでに公表済みの水害リスクマップは、国管理区間(熊野川・相野谷川・市田川)の外水氾濫のみによる水害リスクを示したものでした。
- これに加えて、比較的発生頻度が高い降雨規模も含めた複数の降雨規模毎に作成した、国管理区間からの外水氾濫と中小河川や下水道等からの内水氾濫を考慮した、多段階の浸水想定図と、それらを重ね合わせて、浸水範囲と浸水頻度の関係を図示した水害リスクマップを作成して参ります。

■内外水統合型水害リスクマップは、外水・内水両方の浸水リスクに対し、**地点毎(メッシュ毎)の浸水頻度**を表示。
 →中～高頻度の被害を軽減する減災対策(防災まちづくり等)の検討への活用を期待。



重ね合わせ
内水氾濫
浸水解析
対象範囲

凡 例	
高頻度 (1/10)	中高頻度 (1/30)
中頻度 (1/50)	中低頻度 (1/100)
想定最大規模	